

乳房再建率

目的

臨床指標、学会の指標との比較

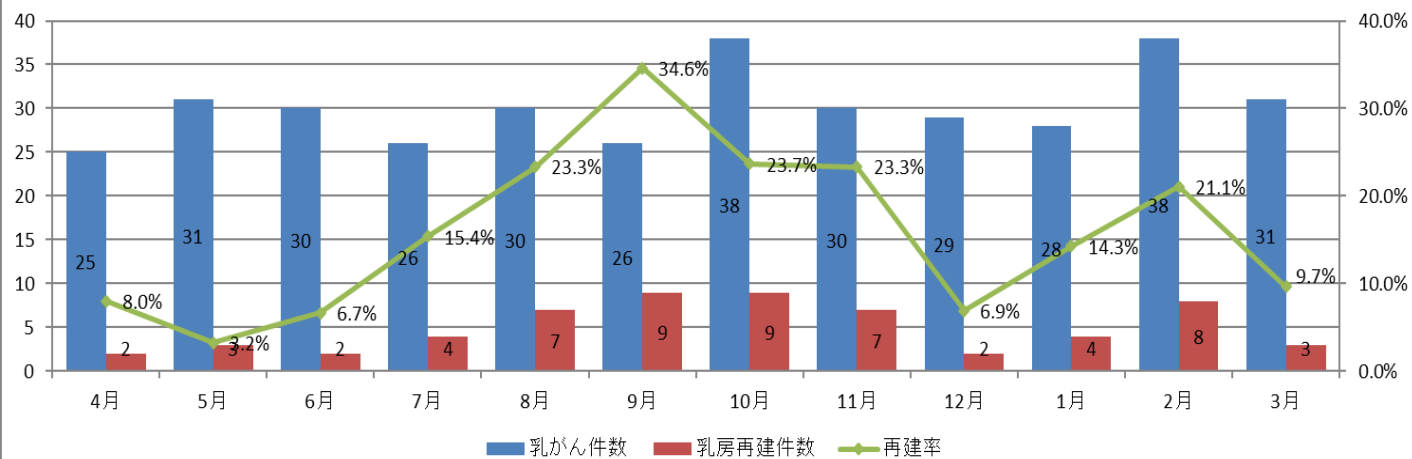
分母

乳がんに対し切除術などの手術を施行した患者

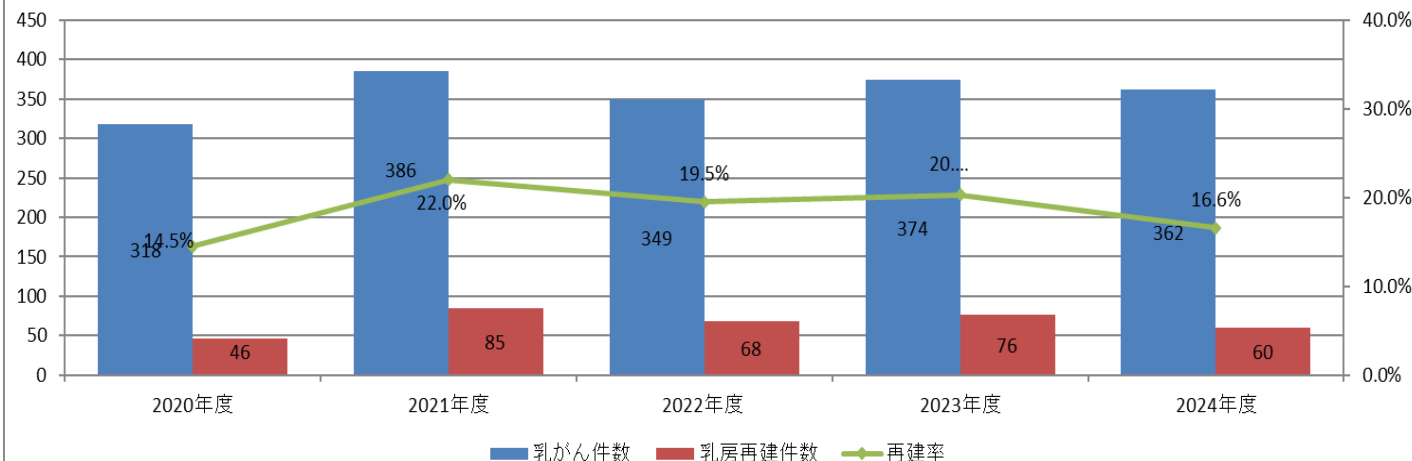
分子

分母患者のうち乳房再建術(インプラント、組織拡張器の挿入を含む)を施行した患者

乳房再建率(2024年度月別)



乳房再建率(年度別)



データ抽出内容

医療情報管理DBより抽出

分母: 乳がんICDコード...C50*, D05*, Z42.1

分子: ICDコード...Z42.1

データ分析コメント

当院形成外科では、以前から乳腺内分泌外科と連携し、積極的に乳房再建術に取り組んでいます。近年の再建方法は乳腺全摘時に皮膚組織拡張器(エキスパンダー)を挿入し、2期的に自家組織再建(腹部・背部・大腿の皮弁を用いる)か人工物のシリコンインプラントによる再建を行っています。日本の平均再建率は13%で、地域差が大きく、都心で高く、地方では低い傾向にあります。神奈川県は12%であり、当院は乳房再建率はここ数年20%前後を推移し、比較すると高いのですが、先進国の中(米国や韓国は40-50%)と比べると、日本は低水準で、乳房再建をより普及させる努力が患者さんのwell-beingに資すると思われます。